

# 技術経営会議

---



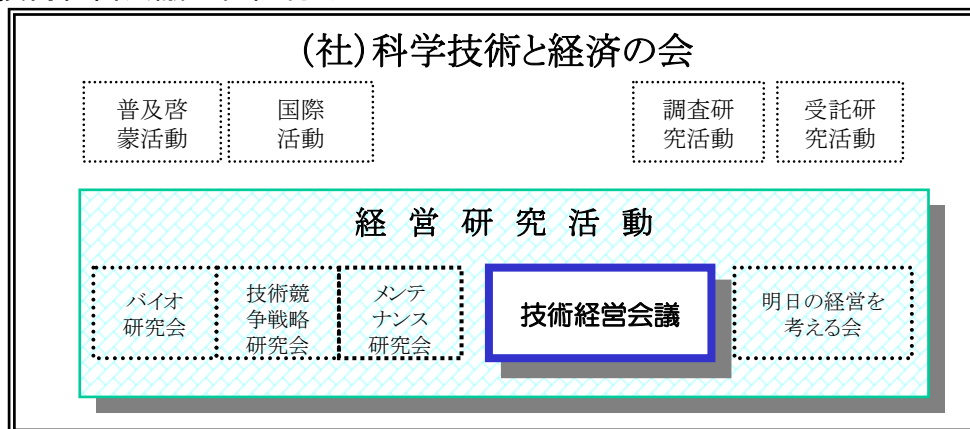
社団法人 科学技術と経済の会

Japan Techno - Economics Society  
(JATES)

## 技術経営会議のご紹介

技術経営会議(以下、技経会と略す)は、社団法人科学技術と経済の会における一つの活動機関であり、技術経営活動の主旨にご賛同いただいた法人会員で構成されています。現在、8業種、50数社の企業から構成されています。

### ●技術経営会議の位置付け



## 主旨

日本産業の持続的発展をめざして、各産業界の経営トップが横断的な連携を強化し、産業共通の基盤にたつて科学技術と経営に関する諸課題について情報収集、意見交換・討議ならびに調査・研究を行います。

## 主な活動項目

技術経営に関する共通課題の解決に向けての調査・研究・討議と異業種の人材交流を自主的に行います。一例として、最近では以下の活動を実施しています。

- ・グローバル化の中で、産業が成長発展するための長期ビジョンの研究
- ・少子高齢化や資源・エネルギー・環境問題などの制約下で、産業界における技術・経営的諸課題の解明とその対策
- ・経営リーダーの人材育成
- ・経営トップ層の相互交流と情報交換
- ・外部に向けての情報発信と提言

## 会員

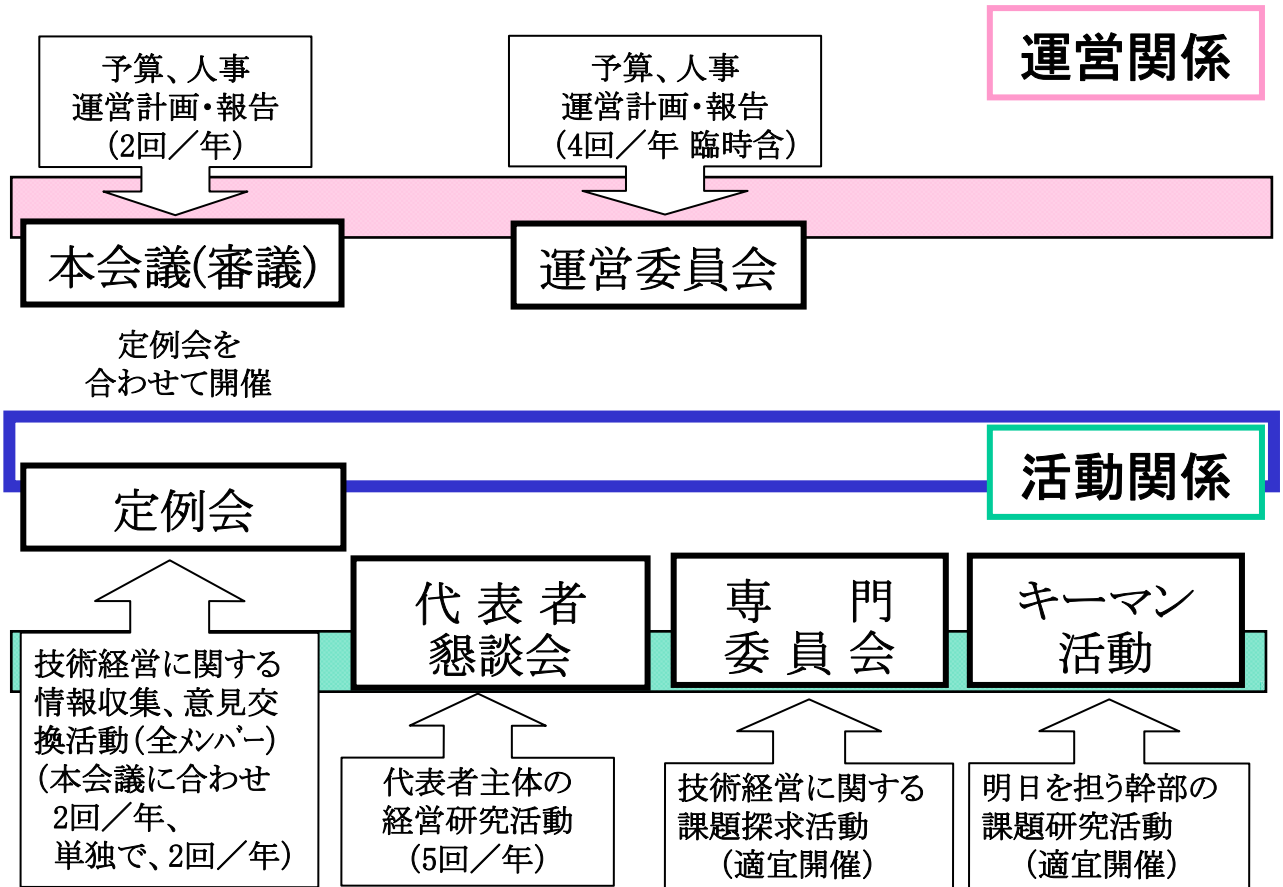
技経会は、(社)科学技術と経済の会の特別会員(法人)の内、参加を希望された会員企業で構成されています。技経会の諸活動は、会員企業を代表される会員代表者、代表者から指名されたキーマン、及び研究活動にふさわしい社内の適任者から構成されています。

## 役員紹介 (平成20年9月1日現在)

技経会の役員は、議長、副議長、会計監査役、常任委員、運営委員となっています。議長、副議長、会計監査の任期は1年、運営委員の任期は1年です(重任可)。

- 議長 篠塚 勝正 氏 沖電気工業株式会社 代表取締役社長  
副議長 前田 忠昭 氏 東京ガス株式会社 代表取締役 副社長執行役員  
副議長 河村 壮一 氏 大成建設株式会社 常務執行役員  
会計監査 近藤 晋一郎 氏 王子製紙株式会社 取締役常務執行役員  
会計監査 山本 正明 氏 鹿島建設株式会社 常務執行役員  
常任委員 太田 健一郎 氏 社団法人科学技術と経済の会 常務理事  
運営委員 23名

# 技術経営会議の運営と活動



## 技術経営会議の運営

技経会の役員は、議長、副議長、会計監査役、常任委員、運営委員で構成されます。

技経会の運営は、年4回開催される運営委員会にて検討・審議され、年2回開催される本会議での意思決定(会員の承認)に基づき遂行されます。

尚、本会議は会員代表者、運営委員会は会員代表者の互選により選任された運営委員により構成されます。

技経会の事業年度は、9月からスタートし、翌年8月開催の本会議(箱根)までとします。

### ●運営のスケジュール

事項	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本会議		東京						箱根				
運営委員会		第2回			第3回			臨時		第1回		
主な審議事項		年度予算						役員人事		方針	年度運営	
出席者		運営委員 会員代表者			運営委員			運営委員 会員代表者		運営委員		

## 活動の概要

・定例会は通常、外部講師による特別講演、会員による講演(メンバースピーチ)および意見交換・交流会といったプログラムとなっています。本会議に合わせ 2回/年(2月、8月)、単独で、2回/年(6月、11月)開催されます。

・代表者懇談会では、会員代表者が経営課題についての意見交換と討議を行います。一定のテーマを設定してプロジェクト型で行われたり、ある課題を背景に講師を招へいしたり、といった形式で進めております。

・専門委員会では、代表者懇談会あるいは会員の要請によって取り上げられたテーマについて期間を設定して調査・研究します(随時設置)。

・キーマン活動では、明日を担う幹部(キーマン)を中心として企画されたテーマについて調査・研究します。

## ●活動のスケジュール

項目	開催内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	対 象 者
定例会	メンバースピーチ		○				○		○			○		会員(会員会社各位) 招待者(会員外)
	特別講演													
代表者懇談会	メンバースピーチ													会員代表者 世話役会(会員会社が指定した方)
	特別講演	○			○	○					○		○	
	討議													
専門委員会	調査・研究	適宜											会員(会員会社が指定した委員) 有識者(会員外の協力者)	
	講演													
キーマン活動	企業見学	適宜											キーマン	
	講演													

## ●最近の成果物

題名	研究会名	刊行時期
わが国の産業イノベーションの実態調査	同委員会(NEDO受託調査)	2007年2月
カーブアウト型事業創造に関する調査研究報告書	カーブアウト調査研究委員会	2008年1月
大企業発ベンチャー調査研究報告書	大企業発ベンチャー研究会(NEDO受託調査)	2008年3月
イノベーションアーキテクチャー(IA)設計ハンドブック	技術と経営のイノベーションによる企業価値創造研究専門委員会	2008年8月

●代表者懇談会・専門委員会活動の詳細紹介

委員会		委員長	SG	リーダー	テーマ
代表者懇談会		議長団(技経会副議長)		(代表者の方 々をメンバー)	平成17～18年度:「少子高 齢化と資源制約下の産業 社会」。 平成19年度:人材育成・開 発を中心として特にテーマ は設定せず推進。 平成20年度:前年度を踏襲 する予定で現在御意見を収 集中。
専門 委員 会	技術と経営のイ ノベーションによ る企業価値創造 の研究専門委員 会(2008年8月で 終了)	山田 宰氏 (パイオニア(株)特 別技術顧問)	SG-A	阿部 仁志氏 (JATES)	イノベーション支援技術の 実践的研究
	SG-B		平林 裕治氏 (清水建設(株))	市場を主体的に見るイノベ ーション・マネジメント	
	イノベーション志 向経営研究専門 委員会(仮称)	榎木 好明氏(松 下電器産業(株)シ ニアフェロー)	(2008年9月～)		
	環境・エネルギ ー調査研究専門 委員会	川上 潤三氏 (日立製作所副社 長)	環境・エネルギーに関する各界の動向分析、技術開発 動向調査分析、業界・企業間交流(2008年9月～)		
	ITリスクマネジメ ント専門委員会 (2008年8月で終 了)	広崎 膨太郎氏 (NEC副社長)	SG-A	山口 真人氏 (NEC)	バックアップDC
	SG-B		熊高 信治氏 (NTTドコモ)	ネットワーク技術	
	SG-C		笠原 裕氏 (NEC)	先進技術	
キーマン研究会	(事務局が運営)	・時宜に即したアドホックなテーマに関し講演会や討 議 ・現場見学会			
センサーネットワーク 研究会	渡辺 誠一氏 (元ソニー常務)	センサーネットワーク動向の調査研究、米国加州 CITRISとの連携(2007年10月～)			
カーブアウト調査研 究委員会	中島 邦雄氏 (前政策研究大学 院大学教授)	カーブアウト型事業創造に関する調査研究(平成19年 度テックゲート(株)よりの受託)			
大企業発ベンチャー 研究会	前田 昇氏(青山 学院大学教授)	大企業発ベンチャー推進のための政策に関する調査研 究を行う(平成19年度経済産業省、NEDO受託)			

## ●第69回 箱根本会議(2008年8月29～30日)

### ■特別講演Ⅰ メンバースピーチ

- ◇演題：「古河電工の技術転化と企業価値の創造」  
講師：石原 廣司氏 古河電気工業(株)代表取締役会長CEO

### ■特別講演Ⅱ

- ◇演題：「米国サブプライムローンの動向と為替市場への影響」  
講師：倉都 康行氏 RPテック(株)代表取締役
- ◇演題：「リサイクル、地球温暖化の問題点ととるべき戦略」  
講師：武田 邦彦氏 中部大学教授
- ◇演題：「微生物の大きな力、発酵パワー」  
講師：小泉 武夫氏 東京農業大学教授

### ■分科会

- ◇第1「イノベーション志向経営」  
講師：篠塚 勝正氏 沖電気工業(株)社長  
座長：川上 潤三氏 (株)日立製作所副社長  
パネリスト：堀井 秀之氏 東京大学教授  
小原 満穂氏 科学技術振興機構(JST)審議役  
光川 寛氏 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)特別顧問
- ◇第2「少子高齢化を支援するロボット」  
講師：下山 勲氏 東京大学大学院情報理工学系研究科長  
座長：前田 忠昭氏 東京ガス(株)副社長

### ■特別セッション

- ◇「自治体再生のビジネスチャンス～Public/Private Partnershipの観点から」  
講師：根本 祐二氏 東洋大学大学院経済学研究科教授

### ■展示

- ◇「センサーネットワークを活用したエネルギー管理システム」  
慶應義塾大学理工学部西宏章研究室のご協力による

## ●第68回 東京本会議(2008年2月20日)

### ■技術経営会議活動報告

- ◇議長挨拶 篠塚 勝正 議長 沖電気工業(株) 代表取締役社長  
◇事業活動報告 及び2007年度事業計画・予算(案)  
◇「ITリスクマネジメント研究」専門委員会報告  
報告者： 委員長 広崎 膨太郎 日本電気(株) 取締役 執行役員専務

### ■メンバースピーチ

- ◇演題：『技術の発展と研究マネジメント』  
講師：所 眞理雄氏 ソニー(株) 業務執行役員CVP  
(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長

### ■特別講演

- ◇演題：『デジタル家電における標準化とMOTについて』  
講師：櫛木 好明氏 松下電器産業(株) シニアフェロー
- ◇演題：『フラット化する世界とサービス・イノベーション』  
講師：丸山 力氏 東京大学大学院工学系研究科特任教授、元日本IBM副社長

## ●第67回箱根根本会議(2007年8月24日～25日)

### ■技術経営会議活動報告

- ◇議長挨拶 金子 尚志 議長 NEC 名誉顧問
- ◇事業活動報告と事業計画・決算報告
- ◇第10期代表者懇談会報告  
報告者:林 喬 氏 (株)関電工 会長、東京電力(株) 顧問
- ◇専門委員会報告  
報告者:委員長 山田 宰 氏 パイオニア(株) 特別技術顧問  
:SG-A 阿部 仁志 氏 沖電気工業(株) CTO補佐  
:SG-B 鈴木 康之 氏 松下電器産業(株) 顧問
- ◇ITリスク研究会報告  
報告者:広崎 膨太郎 氏 日本電気(株) 取締役 執行役員専務
- ◇キーマン報告
  - A. キーテクノロジー創出現場レポート  
報告者:宮城 禎信 氏 東京ガス(株) 技術戦略部
  - B. グローバル技術経営研究会  
報告者:花本 忠幸 氏 (株)小松製作所 研究本部

### ■特別講演

- ◇演 題:リコーの経営と技術(イノベーション事例を中心に)  
講 師:酒井 清 氏 (株)リコー 取締役 専務執行役員、CTO
- ◇演 題:産業の競争力とイノベーション  
講 師:黒田 昌裕 氏 内閣府 経済社会総合研究所 所長
- ◇演 題:文化財の非破壊分析 -浮世絵版画の色材分析から化粧品開発へ-  
講 師:下山 進 氏 吉備国際大学 文化財総合研究センター長 教授

### ■分科会

- ◇演 題:イノベーション創出のためのブレークスルーマネジメント  
～新しいパラダイム実現のためのリーダーシップとラディカルイノベーションについて～  
講 師:司馬 正次 氏 筑波大学 名誉教授
- ◇演 題:知財戦略の実践  
講 師:糸賀 道也 氏 パテントオンラインサーチ社長、東京理科大学大学院客員教授
- ◇演 題 :集合知形成による学産官協調と社会市場創出の試み  
～地球環境から高齢化社会まで: CITRISにおけるセンサーネットワークR&D最前線  
講 師 :井上 隆秀 氏 CITRIS 顧問

### ■特別セッション

- ◇演 題 :ソニーからのカーブアウト奮戦記  
講 師 :長谷川 正平 氏 (株)エフ・イー・テクノロジーズ 社長

# 定 例 会

注：講演当時の役職による

## ■ 第68回(2005年11月10日)

- ◇演 題 : 上場企業の創り方と今後の戦略(メンバースピーチ)
- 講 師 : 山田 太郎 氏 ネクステック(株) 代表取締役社長
- ◇演 題 : JAXA長期ビジョンと日本の宇宙産業
- 講 師 : 立川 敬二 氏 宇宙航空研究開発機構(JAXA)理事長
- ◇演 題 : 勝つ工場ーグローバル競争で勝ち残る日本モデル
- 講 師 : 後藤 康浩 氏 日本経済新聞社 論説委員

## ■ 第69回(2006年5月10日)

- ◇演 題 : 3M社のグローバル経営における住友スリーエムの役割  
ー 研究開発を中心にして ー (メンバースピーチ)
- 講 師 : 野津 英夫 氏 住友スリーエム(株) 常務取締役 技術及び環境マネジメント担当
- ◇演 題 : ニッポン技術者の使命 ー 出でよ! 若きリーダーたち ー
- 講 師 : 飯田 汎 氏 放送大学客員教授(株)東レ経営研究所 チーフコーディネータ

## ■ 第70回(2006年11月8日)

- ◇演 題 : 王子製紙におけるバイオマスへの取り組み(メンバースピーチ)
- 講 師 : 奥島 俊介 氏 王子製紙(株) 専務取締役
- ◇演 題 : 21世紀にあるべき企業経営の方法論を求めて  
～パラダイム破壊型イノベーションこそが未来を創る～
- 講 師 : 山口 栄一 氏 同志社大学大学院教授

## ■ 第71回(2007年6月6日)

- ◇演 題 : クリエイティブなCTOP創生に向けて(メンバースピーチ)
- 講 師 : 高島 秀行 氏 住友電気工業(株) 特別顧問
- ◇演 題 : 逆転の競争戦略 ～リーダー企業の強みを弱みにする方法～
- 講 師 : 山田 英夫 氏 早稲田大学 ビジネススクール教授

## ■ 第72回(2007年11月7日)

- ◇演 題 : 富士通研究所のイノベーション(メンバースピーチ)
- 講 師 : 村野 和雄 氏 (株)富士通研究所 代表取締役社長
- ◇演 題 : イノベーションと知識経営 ー創造サイクルの到来と新たなエクセレンスー
- 講 師 : 紺野 登 氏 多摩大学大学院 教授 (株)コラム 代表

## ■ 第73回 定例会プログラム(2008年6月11日)

- ◇演 題 : 「自由と規律の両立への挑戦」に基づく住友スリーエム(3M)の技術経営(メンバースピーチ)
- ◇講 師 : 大久保 孝俊 氏 住友スリーエム(株) 執行役員
- ◇特別講演:「安全・安心のための社会技術」
- 講 師 : 堀井 秀之 氏 東京大学大学院工学系研究科・工学部社会基盤学専攻・社会基盤学科 教授

# 代表者懇談会(1)

第9期 :少子高齢、エネルギー・環境問題等に対応した、産業構造の転換に向けて  
2005年9月～2006年8月

○座長 :森元 淳平 氏 (株)大林組 ○コーディネーター :山口 靖之 氏 東京ガス(株)

○運営方法 :年5回の代表者懇談会の開催、これをサポートする世話役会の設置

第1回 開催日:2005.10.26 演題:「少子・高齢化、エネルギー、環境に関する沖電気の取り組み」  
講師:杉本晴重氏 沖電気工業(株) CTO常務取締役

演題:「建設業における経営環境と課題」  
講師:河村壮一氏 大成建設(株) 常務 技術センター長

第2回 開催日:2005.12.7 演題:「脱温暖化社会:なぜ必要か?どうすれば実現できるのか?」  
講師:藤野純一氏

(独)国立環境研究所 社会環境システム研究領域  
統合評価モデル研究室 主任研究員

第3回 開催日:2006.1.25 演題:「資源と環境の国家戦略と企業 -資源、環境制約から  
今後の産業界の目指すべき方向をさぐる-」  
講師:谷口正次氏 国際連合大学ゼロエミッション・フォーラム理事

第4回 開催日:2006.4.5 演題:「これからの「豊かさ」とは何か  
-21世紀の科学技術と社会はどうなる-」  
講師:佐和隆光 氏 京都大学 経済研究所 所長

第5回 開催日:2006.5.24 演題:「21世紀における持続的社会的実現にむけた3E展開」  
講師:古屋孝明 氏 三菱重工業(株) 技術本部 技術企画部  
技術戦略グループ長

第10期代表者懇談会 2006年9月～2007年8月

○運営方法

- ・年5回の代表者懇談会を開催
- ・懇談会は議長団が運営
- ・年間テーマは設定せず(人材開発を底流に)

第1回 開催日:2006.10.25 演題:「”真の総合力”と人材育成  
(テーマ:人材育成) -新しい価値の創造とその事業化に貢献できる技術者の育成-」  
講師:小園 裕三 氏 (株)日立製作所 総合教育センター  
技術研修所 所長

第2回 開催日:2006.12.6 演題:「ライフラインを守るインハウスエンジニアの  
(テーマ:人材育成) 人材育成について」  
講師:高津 浩明 氏 東京電力(株) 執行役員  
総合研修センター 所長

第3回 開催日:2007.1.24 演題:「経営者になる経営者を育てる」  
(テーマ:人材育成) 講師:菅野 寛 氏 ポストン コンサルティング グループ  
ヴァイス・プレジデント、ディレクター

第4回 開催日:2007.4.4 演題:「不動産の戦略的運用支援ビジネスの創出」  
(テーマ:人材育成) 講師:板谷 敏正 氏 プロパティデータバンク(株) 代表取締役社長

第5回 開催日:2007.5.16 演題:「私のMOT論 ～「経営の術」と「経営の心」～」  
(テーマ:人材育成) 講師:金子 尚志 氏 日本電気(株) 名誉顧問, 日本MOT学会 会長,  
(社)科学技術と経済の会 技術経営会議 議長

# 代表者懇談会 (2)

第11期代表者懇談会 2007年9月～2008年8月

## ○運営方法

- ・年5回の代表者懇談会を開催
- ・懇談会は議長団が運営
- ・年間テーマは設定せず(イノベーションを底流に)

- 第1回 2007年10月24日(水) 演 題:「ICTにより促すビジネス・イノベーション  
～尊敬に値する高効率経営への挑戦～」  
講 師:中島 洋 氏 (株)MM総研 代表取締役所長、  
日経BP社 編集委員、国際大学GLOCOM 教授
- 第2回 2007年12月5日(水) 演 題:「時代を見る目 –なぜいま情報技術なのか?–」  
講 師:原島 博 氏  
東京大学大学院情報学環／工学部電子情報工学科教授
- 第3回 2008年1月30日(水) 演 題:「オープン・イノベーション時代の技術戦略」  
講 師:長谷川 克也 氏 早稲田大学 科健機構  
戦略マネジメント研究所 教授
- 第4回 2008年4月9日(水) 演 題:「技術開発とメンタルヘルス」  
講 師:加藤 進昌 氏 昭和大学医学部精神医学教室・教授  
昭和大学附属烏山病院・院長
- 第5回 2008年5月14日(水) 演 題:「ビジネスモデル間競争 –異業種格闘技の時代」  
講 師:内田 和成 氏 ポストン・コンサルティング・グループ、  
早稲田大学教授

# 専門委員会 (2006/12～)

## 1. 研究テーマ：技術と経営のイノベーションによる企業価値創造の研究

委員長 山田 幸氏(パイオニア株)

### Aグループ イノベーション支援技術の実践的研究

#### 第1回研究会 2006年12月20日(水)

- (1)オリエンテーション 阿部リーダー
- (2)講演 演題:「産業政策と産業技術政策」  
講師:中島邦雄氏 政策研究大学院大学 教授 科学技術・学術政策プログラムディレクター
- 演題:「技術評価、事業性評価について」  
講師:渡辺 日出男氏 カレイザネット設立者 C&Hコーポレーション代表

#### 第2回研究会 2007年1月23日(火)

- (1)メンバーによる話題提供:  
岡田 誠委員(代理 佐野泰之氏) (株)富士通研究所 ビジネスインキュベーション研究所
- (2)講演 演題:「ビジネスモデル設計論における事例紹介」  
講師:板谷 敏正氏 プロパティデータバンク(株) 社長

#### 第3回研究会 2007年2月14日(火)

- (1)メンバーによる話題提供: 神野文夫委員 王子製紙(株) 研究開発本部 新技術研究所
- (2)講演 演題:「やらなきゃ良かったあのテーマ」  
講師:池澤 直樹氏 (株)野村総合研究所 チーフ・インダストリー・スペシャリスト

#### 第4回研究会 2007年3月22日(木)

- (1)講演 演題:「失われた15年と企業経営 ～戦略転換点 数値でも裏づけ～」  
講師:小平 和一郎氏 (株)イー・ブランド21 代表取締役
- (2)作業部会 ディスカッション・リーダー 神野委員、石田委員

#### 第5回研究会 2007年4月17日(火)

- (1)作業研究部会 イノベーション支援技術“Structured Creativity”の研究:各委員の分担分の発表と討議

#### 第6回研究会 2007年5月21日(月)

- (1)作業研究部会: イノベーション支援技術“Structured Creativity”の研究:  
・各委員の分担分の発表と討議、JAISTIにおける講義紹介

#### 第7回研究会 2007年6月27日(水)

- (1)作業研究部会 イノベーション支援技術“Structured Creativity”の研究:各委員の分担分の発表と討議
- (2)講演 演題:「イノベーション・アーキテクチャーを活用した事業戦略、技術戦略の策定」  
講師:柴垣 茂樹氏 ニッタ(株)テクニカルセンター MOT課 課長

#### 第8回研究会 2007年7月11日(水)

- (1)作業研究部会  
イノベーション支援技術“Structured Creativity”の研究:各委員の分担分の発表と討議
- (2)講演 演題:「Structured Creativityについて」  
講師:長平 彰夫氏 東北大学大学院 工学研究科 技術社会システム専攻  
技術経営分野講座 主任教授・経営学博士

#### 第9回研究会 2007年12月11日(火)

- (1)ビジネスモデル設計講座、フォローアップ企画講演会  
テーマ:「家庭用燃料電池/家庭用コージェネレーションを活用したエネルギー供給サービス」  
講師:小池 俊一 氏 東京ガス(株)技術開発本部 商品開発部 PEFC開発グループマネージャー

- (2)研究・作業部会

#### 第10回研究会 2008年2月4日(月)

- (1)ケース・スタディの現地見学会 東京ガス(株)千住テクノステーション暮・楽創・創ハウス、水素ステーション&  
燃料電池自動車、家庭用燃料電池コージェネレーション(PEFC)他
- (2)研究・作業部会

#### 第11回研究会 2008年3月25日(火)

- (1)研究・作業部会
- (2)講演部会 演題:「オープンイノベーションによる価値創造の最新動向」  
講師:(株)ナインシグマ・ジャパン社長 諏訪 暁彦氏

**第12回研究会 2008年4月22日(火)**

- (1) 研究・作業部会 IAハンドブック作成の進め方 岡田Coリーダー
- (2) 講演部会 演 題:「製品アーキテクチャのダイナミズムを前提にした日本型イノベーションシステムの再構築」～新・日本型経営としてのビジネス・モデル・イノベーション～  
講 師: 東京大学COEものづくり経営研究センター 小川 紘一 氏

**作業部会 2008年5月19日(月)**

テーマ:「イノベーションアーキテクチャ設計ハンドブック」作成へ向けて

**第13回研究会 2008年7月22日(火)(予定)**

- (1) 研究・作業部会 研究・作業部会による手作り「イノベーション・アーキテクチャー設計ハンドブック」第1版の検討
- (2) 講演部会 演 題:「持続的イノベーションマネジメント」  
講 師: スイス連邦工科大学・企業科学センター G. Trauffler博士

**Bグループ 「市場を主体的に見るイノベーションマネジメント」の研究**

**第1回研究会 2007年2月27日(火)**

演題:「GAN青色LEDの開発とビジネス化」  
講師:大塚 康二氏 サンケン電気(株) 技術本部 LED事業部長

**第2回研究会 2007年7月4日(水)**

演題:「コトラーに学ぶマーケティング」  
講師:白井 義男氏 高崎経済大学 地域政策学部 教授  
前 千葉経済大学 経済学部 助教授

**第3回研究会 2007年7月25日(水)**

演題:「非接触ICカードシステム Felicaの開発について  
～デファクトスタンダード戦略とFelica技術の社会受容～」  
講師:前田 昇氏 青山学院大学 教授

**第4回研究会 2007年11月6日(火)**

演題:「技術(シーズ)を起点としたマーケティング」  
講師:鈴木 剛一郎氏 イノベーションマネジメントコンサルティング代表

**第5回研究会 2007年12月21日(火)**

研究作業部会 未完成技術の市場開拓  
テーマ1:「高感度カメラの市場展開の可能性」パイオニア(株)吉川委員  
テーマ2:「案内ロボットの市場展開の可能性」清水建設(株)平林委員

**第6回研究会 2008年1月31日(木)**

演題:「市場と研究所をつなぐNTTのプロデューサー制度」  
講師:関 俊司氏 NTT研究企画部門 プロデュース担当

**第7回研究会 2008年4月2日(水)**

演題:「人を元気にする企業文化 -R&Dにフォーカスして-」  
講師:住友スリーエム株式会社 執行役員 大久保 孝俊氏

**第8回研究会 2008年6月18日(水)**

演題:「R&D成果を活かした新車開発」  
講師:日産自動車総合研究所社会・フロンティア研究所 担当部長 萩原 太郎氏

**第9回研究会 2008年7月14日(月)(予定)**

演題:「超高感度HARP(ハーブ)撮像管の発明と今思うこと」  
講師:NHK放送技術研究所 所付(前所長)谷岡 健吉氏

## 2. 研究テーマ：ITリスクマネジメント研究

委員長 広崎 膨太郎氏(日本電気株)

### ○第1回 2007年10月31日(水)

議 題: ITリスクマネジメント研究専門委員会設立の趣旨  
各SGの活動計画(案)の説明  
今後の進め方について

### ○第2回 2007年12月20日(水)

見 学:三菱電機ビルテクノサービス(株)  
・M'S Station(エムズ・ステーション)  
・情報センター  
議 題:BCP策定上の経営課題の抽出、各社のBCPの取り組み紹介、討議

### ○第3回 2008年2月6日(水)

1)講 演  
演 題:「カルビー株式会社における事業継続計画(BCP)の紹介」  
講 師:梶ヶ野 恭行 氏  
カルビー(株) 戦略グループIT企画チームリーダー  
2)討 議:BCP策定上の経営課題の抽出、各社のBCPの取り組み紹介、討議

### ○第4回平成20年2月21日(木)

1)専門委員会と各サブGの進め方の確認  
2)情報提供、討議

### ○第5回平成20年4月10日(木)

1)講 演:演 題:災害時のビジネス継続性を実現する危機管理のあり方  
講 師:危機管理対策機構(兼 事業継続推進機構) 事務局長 細坪 信二 氏  
2)討 議

### ○第6回平成20年5月8日(木)

1)情報提供(1):「B値」を用いる地震予知/予測 手法の実現性について  
(株)東芝 電力システム社 犬伏 裕之 氏  
2)情報提供(2):「バックアップデータセンタに求められる機能やサービス」バックアップDC研究SG  
3)全体討議

### ○第7回平成20年6月5日(木)

1)情報提供(1):BCP(事業継続計画)の動向と東芝における取り組み  
(株)東芝 永野 英夫氏  
2)情報提供(2):各サブグループから進捗状況の報告  
3)最終まとめへ向けて

### ○第7回平成20年7月2日(木)

1)最終まとめへ向けて

## キーテクノロジー創出現場のレポート

### 【研究会の趣旨】

- ・キーテクノロジーが適用された製品の現場、またはそれを創出したR&D機関を直接訪問 キーテクノロジーが生まれるまでの原動力、マネジメント、プロセス、R&D環境、その背景は何かなどの解説を受け、また現場レポートを実施し参加企業にフィードバックする。
- ・現場レポートを受ける企業においては、キーテクノロジーを広報することによって、技術提携、新たな顧客獲得等を狙う。

No.	レポート先企業名	開催地区	レポート先の主なシステム・製品	訪問時期
5	川崎重工業(株)	明石	木質バイオマスのガス化発電装置	'05年 9月 9日
6	住友スリーエム(株)	相模原	極細繊維技術 固体高分子型燃料電池用MES	'05年10月31日
7	(株)日立製作所	勝田	研究ビジネス(i-engineering) 静音化研究設備、シミュレーション技術	'07年 2月 9日
8	東京電力(株)	尻手	材料技術実験室、ナトリウム硫黄電池 電気の史料館	'07年 4月12日
9	(株)大林組	東京都 清瀬市	コーナージョイント(耐火スクリーン) ブレーキダンパー(制震装置)	'07年 6月21日
10	(株)富士通研究所	川崎市	リレー計算機、海底ケーブル、CPU変遷 RFID、静脈認証、ロボット	'07年11月29日
11	東京電力(株)	柏崎市	地震被災と改良型沸騰水型原子炉(ABWR)	'07年12月27日
12	東京ガス(株)	荒川区	家庭用燃料電池コージェネレーション(PEFC)	'08年 2月 4日
13	東京都交通局	江東区	木場車両検修場,大江戸線(リニアモーター駆動)	'08年 5月16日

## キーマン研究会

### 1. 研究会の目的

世の中の動向を探り、産業界の明日への指針を築くこと、や各企業の抱える「技術経営」の課題に向けた解決を目指す研究会活動を行うことを目的とする。

- ・グローバルな視野にたつて市場・産業・社会・経営の方向性を探索する。
- ・各産業界の将来展望が描けるよう明日への指針を築く。
- ・技術経営上の課題に向けた解決に取り組む。
- ・イノベーションの進化に対応した技術経営のあり方を探索する。

### 2. 研究会のスタイル

- ・有識者のキーノートスピーチ & ディスカッションおよびビジネス交流会

第5回(2005年12月12日)・演題:「無形価値 会計と情報開示」

- ・講師:熊本 浩明氏 プライスウォーターハウスクーパーズ香港  
ジャパンデスクマネージャー

第6回(2006年 1月30日)・演題:「企業戦略の進化 -「融知」経営に向けて-」

- ・講師:名和 高司氏 マッキンゼー・アンド・カンパニー インク,  
ジャパン ディレクター

第7回(2007年 1月30日)・演題:「リスクマネジメントの視点から見たイノベーション戦略」

- ・講師:林 志行氏 国際戦略デザイン研究所 代表取締役

第8回(2007年 4月26日)・演題:「イノベーションを先導する技術経営」

- ・講師:丹羽 清氏 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻 教授

第9回(2007年 7月20日)・演題:「21世紀、資源と環境の制約下における“ものづくり”を問う」

- ・講師:谷口 正次氏 国連大学 ゼロエミッションフォーラム 理事

第10回(2008年1月17日)・演題:「対テロ戦争からみる21世紀パワーバランスの変動と新しい地政学」

- ・講師:宮坂 直史氏 防衛大学校 総合安全保障研究科兼国際関係学科 准教授

# センサーネットワーク調査研究会

## 1. 研究会の目的

センサーネットワークに関する内外の技術動向・商品化動向を探り、産業界が主体となって社会的な課題解決へ向けてイノベーション推進への指針や方策を調査研究する。さらに、米国加州CITRIS他海外関係組織との交流と国内での産学共同研究開発体制の検討を行う。

- ・センサーネットワークに関する技術開発動向、標準化の動向について調査を行う。
- ・応用分野に関するニーズ、課題の調査研究を行う。
- ・社会的課題の解決を目指し応用システムを検討する。
- ・長期的に共同研究開発、国際標準化への取り組みのあり方を探索する。

## 2. 研究会のスタイル

- ・有識者のキーノートスピーチ & ディスカッションおよびビジネス交流会
- ・国際的な交流(合同シンポジウム等)

- |                  |   |
|------------------|---|
| 第1回(2007年10月30日) | ・演 題:「センサーネットワーク開発をめぐる動向～ZiGBeeを中心として」<br>・講 師:坂梨 孝一氏(沖電気工業株)   |
| 第2回(2007年12月4日)  | ・演 題:「環境・省エネルギー・安全安心のためのセンシング・モニタリング関連技術紹介」<br>・講 師:三浦 悟氏(鹿島建設株技術研究所)<br>・演 題:「タイヤによるセンサーネットワークについて」<br>・講 師:門田 邦信氏(株ブリヂストン)  |
| 第3回(2008年1月10日)  | ・演 題:「センサーネットワーク標準化の動向～HART,ISA,SP100,ZiGBee」<br>・講 師:山本 周二氏(横河電機株)   |
| 第4回(2008年2月12日)  | ・演 題:「高性能無線モジュールとセンサーネットワーク」<br>・講 師:佐藤 信一氏(日本電波工業株)<br>・演 題:「MEMSセンサーとセンサーネットワーク」<br>・講 師:佐々木 昌氏(オムロン株)  |
| 第5回(2008年4月16日)  | ・演 題:「医療におけるセンサーネットワーク(仮題)」<br>・講 師:朽久保 修氏(横浜市立大学医学部 教授)<br>片山 国正氏(株テルモ)  |
| 第6回(2008年5月7日)   | ・演 題:「医療を中心とするハイエンドユースのためのセンサーネットワークと医療ICTビジネスのシナリオーボディエリアネットワーク(BAN)の研究開発・標準化・ビジネス化」<br>・講 師:河野 隆二氏(横浜国立大学 未来情報通信医療社会基盤センター<br>センター長 大学院工学研究院知的構造の創生部門<br>電気電子と数理情報分野(工学部電子情報工学科) 教授)<br>・演 題:「磁気センサーとMEMSセンサー紹介」<br>・講 師:物部 泰明氏(アルプス電気株 新事業推進部プロジェクトマネジャー)<br>・講 演:CITRISにおける研究情報」<br>・講 師:井上 隆秀氏(CITRIS) |
| 第7回(2008年6月20日)  | ・演 題:東京都が実施したICタグ実証実験の概要<br>・講 師:坂巻 佳壽美氏(東京都立産業技術研究センター情報技術グループ長)<br>・演 題:自動検針技術とその活用について<br>・講 師:古沢 肇氏(東京ガス株技術開発本部IT新サービスグループマネジャー)  |
| 第8回(2008年7月1日)   | ・講 師:住宅・オフィスにおけるCO2削減の動向とセンサーの役割<br>・講 師:伊香賀 俊治氏(慶応義塾大学 教授)   |
| 第9回(2008年7月29日)  | ・演 題:安全安心・省エネのためのワイヤレス・センサー・ネットワーク<br>・講 師:鄭 立氏(株山武研究開発本部主席研究員)   |
| 第10回(2008年8月18日) | ・演 題:センサー・ネットワークによるエネルギー課題解決型システムへ向けて<br>・講 師:西 宏章氏(慶応義塾大学理工学部准教授)  |

# 環境・エネルギー問題調査研究会

## 1. 研究会の目的

今日国際的外交的かつ政治的な課題となってきた環境・エネルギー問題の動向を探り、産業界の中で研鑽と各企業の抱える課題の共有化をはかることを主眼とする研究会活動を行うことを目的とする。

- ・科学技術的視点に立って環境エネルギー問題の方向性を探索する。
- ・各産業界が抱える課題を提示、将来展望に関する指針を討議。
- ・官政学界との交流をはかる場とする。
- ・本分野における技術開発の動向についてヒヤリング等調査研究を行う。

## 2. 研究会のスタイル

- ・有識者のキーノートスピーチ & ディスカッションおよびビジネス交流会

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 第1回(2008年3月24日)                 | ・演 題:「地球温暖化問題の今後の動向」<br>・講 師:茅 陽一氏 (財)地球環境産業技術研究機構(RITE)研究所長        |
| 第2回(2008年4月23日)                 | ・演 題:「CCS(二酸化炭素回収・隔離技術)」<br>・講 師:水野 康信氏 (RITE CO2貯留グループ プロジェクトリーダー) |
| 第3回(2008年5月27日)                 | ・演 題:「気候変動問題と市場アプローチについて」<br>・講 師:本郷 尚氏 (国際協力銀行 特命審議役・環境ビジネス支援室長)   |
| 第4回(2008年7月1日、センサーネットワーク研究会と合同) | ・演 題:住宅・オフィスにおけるCO2削減の動向とセンサーの役割<br>・講 師:伊香賀 俊治氏 (慶応義塾大 教授)         |
| 第5回(2008年7月4日)                  | ・演 題:グリーンエネルギーの拡大方策<br>・講 師:山地 憲治氏 (東京大学教授)                         |

# 技術経営会議の沿革

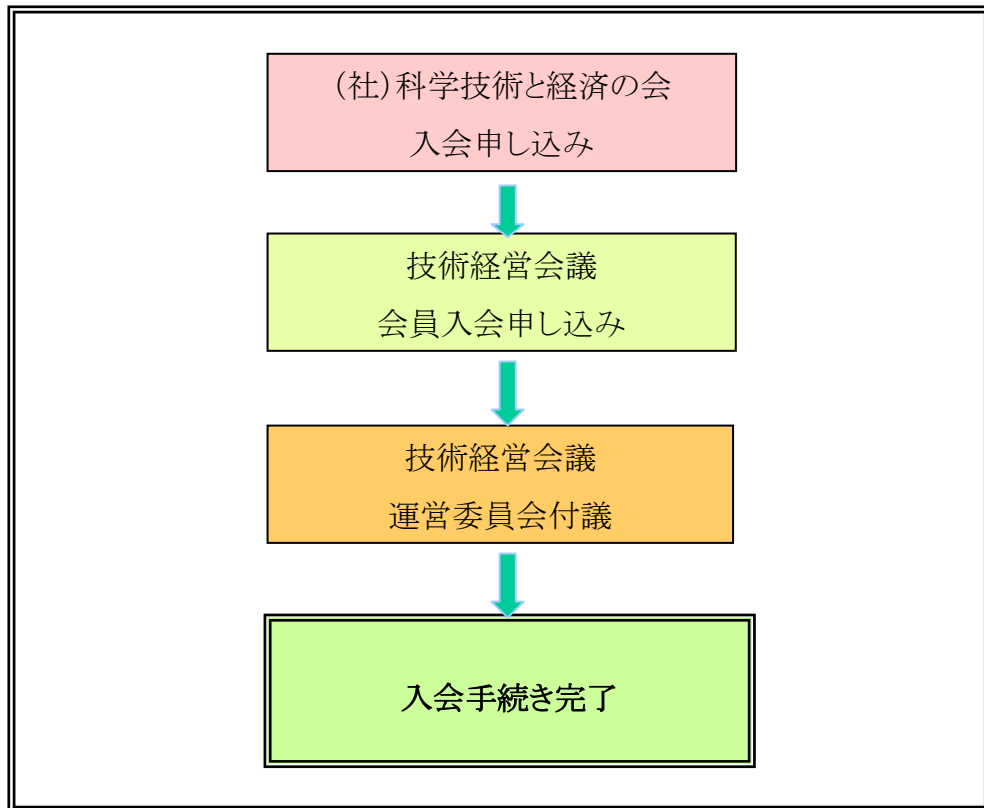
- 昭和41年10月 (社)科学技術と経済の会 設立総会を開催、会長に安川第五郎氏が就任
- 昭和42年 1月 「技術と経済」創刊号を発刊
- 昭和42年 1月 社団法人として内閣総理大臣より認可
- 昭和43年12月 FROG (Future Research Operation Group) 研究会発足 技術予測、技術計画研究会
- 昭和44年12月 ローマ・クラブ東京事務所となる
- 昭和45年10月 EIRMA (European Industrial Research Management Association)との提携による「産業予測調査団」を派遣。
- 昭和46年 2月 財団法人未来工学研究所を設立。理事長に安川第五郎氏が就任
- 昭和47年 4月 第1回技術予測シンポジウム
- 昭和47年11月 IRI (Industrial Research Institute, Inc.)との提携による「技術開発システム調査団」を派遣
- 昭和48年 5月 第2代会長に土光敏夫氏が就任
- 昭和49年10月 「技術経営会議」発足。初代議長に小林宏治氏が就任**
- 昭和51年 5月 第1回 研究・開発のための「開発管理科学講座」
- 昭和53年11月 「明日の経営を考える会」発足
- 昭和55年10月 中国科学技術協会と「科学技術交流に関する覚書」を締結
- 昭和57年 5月 第3代会長に小林宏治氏が就任
- 昭和61年12月 FF会発足。事務局として支援
- 平成 2年11月 「日本インダストリアル・パフォーマンス委員会(略称 JCIP)」を設立  
(代表発起 人小林宏治氏・佐波正一氏) 主査 吉川弘之氏(東京大学総長)
- 平成 3年10月 米国科学技術広報協会(SIPI: Scientists' Institute for Public Information)との提携による、第1ラウンド訪米  
～ 4年4月
- 平成 6年 1月 訪米・日本産業技術広報プロジェクトの第2ラウンド派遣
- 平成 6年 4月 日本インダストリアル・パフォーマンス委員会の調査報告書「メイド・イン・ジャパン」出版
- 平成 7年 5月 第4代会長に佐波正一氏が就任
- 平成 7年 9月 技術経営会議 第2代議長に永野 健氏就任(三菱マテリアル株)**
- 平成 7年12月 メンテナンス研究会を設立
- 平成 9年12月 技術経営会議「代表者懇談会」発足**
- 平成 9年12月 リサーチ・オン・リサーチ研究会を設立
- 平成11年 4月 産業科学技術競争力委員会を設立
- 平成11年 5月 第5代会長に豊田章一郎氏が就任
- 平成11年 8月 技術経営会議 第3代議長に金井 務氏就任(株)日立製作所)**
- 平成11年11月 バイオ研究会を設立
- 平成15年 5月 第6代会長に金井 務氏が就任
- 平成15年 8月 技術経営会議 第4代議長に金子 尚志氏就任(日本電気株)**
- 平成19年 8月 技術経営会議 第5代議長に篠塚 勝正氏就任(沖電気工業株)**

## 技術経営会議 歴代議長・副議長

(注)氏名:敬称略、就任当時の会社名、役職を表示

年度	議長	副議長	副議長
S49	小林宏治	矢木 栄 千代田化工建設(株) 副社長	
S50	(日本電気(株)社長)	矢木 栄 千代田化工建設(株) 副社長	
S51		矢木 栄 千代田化工建設(株) 副社長	神原 豊三 (株)日立製作所 常務取締役
S52		神原 豊三 (株)日立製作所 常務取締役	向山 定孝 東レ(株) 副社長
S53		向山 定孝 東レ(株) 副社長	三井 敏正 三菱重工業(株)
S54		三井 敏正 三菱重工業(株)	野瀬 正儀 電源開発(株) 副総裁
S55		野瀬 正儀 電源開発(株) 副総裁	大西 光司 王子製紙(株) 副社長
S56		大西 光司 王子製紙(株) 副社長	杉山 卓 横河電機(株) 専務取締役
S57		杉山 卓 横河電機(株) 専務取締役	藤森 和雄 東京電力(株) 副社長
S68		藤森 和雄 東京電力(株) 副社長	青木 宏一 新日本製鐵(株) 副社長
S59		青木 宏一 新日本製鐵(株) 副社長	遠藤 正明 (株)竹中工務店 常務取締役
S60		遠藤 正明 (株)竹中工務店 常務取締役	月見里礼次郎 凸版印刷(株) 常務取締役
S61		月見里礼次郎 凸版印刷(株) 常務取締役	舘 糾 鐘淵化学工業(株)専務取締役
S62		舘 糾 鐘淵化学工業(株)専務取締役	日吉 淳一 東芝セラミックス(株) 社長
S63		日吉 淳一 東芝セラミックス(株) 社長	片岡 宏文 東京ガス(株) 専務取締役
H 1		片岡 宏文 東京ガス(株) 専務取締役	山本 武夫 パイオニア(株) 専務取締役
H 2		山本 武夫 パイオニア(株) 専務取締役	北村 弘 大成建設(株) 専務取締役
H 3		北村 弘 大成建設(株) 専務取締役	中原 恒雄 住友電気工業(株) 副社長
H 4		中原 恒雄 住友電気工業(株) 副社長	浜中 全美 石川島播磨重工業(株) 常務
H 5		浜中 全美 石川島播磨重工業(株) 常務	高柳 誠一 (株)東芝 副社長
H 6		高柳 誠一 (株)東芝 副社長	帆足 健三 (株)小松製作所 常務取締役
H 7	永野 健	帆足 健三 (株)小松製作所 常務取締役	坂本 健次 鹿島建設(株) 専務取締役
H 8	(三菱マテリアル(株)相談役)	坂本 健次 鹿島建設(株) 専務取締役	坂田 浩一 日本テレコム(株) 社長
H 9		坂田 浩一 日本テレコム(株) 社長	澤田 勉 日産自動車(株) 副社長
H10		澤田 勉 日産自動車(株) 副社長	小泉 達也 古河電気工業(株) 常務取締役
H11	金井 務	小泉 達也 古河電気工業(株) 常務取締役	渡辺 誠一 ソニー(株) 上席常務
H12	(株)日立製作所(会長)	渡辺 誠一 ソニー(株) 上席常務	津田 志郎 (株)NTTドコモ 副社長
H13		津田 志郎 (株)NTTドコモ 副社長	牧山 武一 日本情報通信コンサルティング(株)社長
H14		牧山 武一 日本情報通信コンサルティング(株)社長	津田 志郎 (株)NTTドコモ 副社長
H15	金子 尚志	津田 志郎 (株)NTTドコモ 副社長	牧山 武一 日本情報通信コンサルティング(株)社長
H16	(日本電気(株)名誉顧問)	牧山 武一 日本情報通信コンサルティング(株)社長	森元 淳平 (株)大林組 専務取締役
H17		森元 淳平 (株)大林組 専務取締役	林 喬 東京電力(株) 副社長
H18		林 喬 東京電力(株) 副社長	川上 潤三 (株)日立製作所 執行役副社長
H19	篠塚 勝正	川上 潤三 (株)日立製作所 執行役副社長	前田 忠昭 東京ガス(株) 代表取締役 副社長
H20	(沖電気工業(株)社長)	前田 忠昭 東京ガス(株) 代表取締役 副社長	河村 壮一 大成建設(株) 常務執行役員

# 入会の手続き



## (社) 科学技術と経済の会 案内図

The map shows the location of the Society of Science, Technology and Economics (JATES) in the Nishi-Shinjuku area of Tokyo. The building is marked with a red dot and labeled. Surrounding landmarks include the Tokyo Metropolitan Government Building, Hotel Metropolitan Edmont, and the East Japan Railway Bank. Major roads like Meiji-dori and the Yamanote Line are also shown.

**交通の案内**

- ・地下鉄:東西線  
飯田橋駅 A5出口 徒歩1分
- ・地下鉄:有楽町線、南北線、大江戸線  
飯田橋駅 A2出口 徒歩3分
- ・JR:中央線・総武線 東口 徒歩4分

**(社)科学技術と経済の会 技術経営会議**

常任委員 太田 健一郎  
事務局 阿部、福井、斉木

〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋3-3-1  
飯田橋三笠ビル2階  
電話 :03-3263-5501(代表)  
FAX :03-3263-5504  
E-Mail:gikeikai@jates.or.jp  
URL :http://www.jates.or.jp